

月報 シオン山

2025年12月4日発行 (No502)

日本バプテストシオン山教会

☎803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

Tel(093)561-0772 Fax(093)561-0760 E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

.....

【月間聖句】

今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主が
お生まれになった。この方こそ主メシアである。

(ルカによる福音書2章11節)

わたしとクリスマス

安武由美子

「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人に
あれ。」 ルカによる福音書2章14節

アドベントの週に入り今年から加藤英治牧師、美代子姉、待子さんと
ご一緒にクリスマス礼拝を守れますことはとても大きな喜びで感謝で
す。

「恵み深い主に感謝せよ 慈しみはとこしえに」と

詩編107章1節

私の子どもの頃のクリスマスは本当の意味を知らず、厳格であった亡き父も子供たちのことを思い一緒にクリスマスツリーを飾り、サンタさんからのプレゼントを！と24日の夜、靴下を枕元に置き翌朝目覚めた時のよろこびとケーキを美食するというすごく楽しいものでした。

私が初めてキリスト教のクリスマス礼拝を知ったのは西南女学院短期大学(現～部)保育科に在籍していた時でした。わたしは合唱部に所属しておりましたので学校でのクリスマス礼拝で讚美し、宗教部がページェントを行いただ緊張してプログラムを追って共演したことだけを憶えています。

短期大学卒業後、お寺の幼稚園に勤務しながら当時カトリックプロテスタント合同聖歌隊(現聖楽研究会)入り、宗教曲に取り組み多くのクリスチャンの方々と親交がありました。そんな折、体調を崩して退職していた時、林田佳代子姉の紹介でルーテル教会付属門司幼稚園に8月から勤務しました。年長児の担任になり、はじめての教会付属の園児たちのクリスマス礼拝とページェントに携わることになりました。未経験でノンクリスチャンの私は無我夢中で先生方に教わりながら例年通りのプログラムに沿った讚美歌とことばを園児たちと一緒に学びながらのことでしたので心のゆとりがなかった事は残念な思い出です。その時に重度の障がい児の母子さんたちと出会って障がい児保育に関心を持ち大阪で統合保育している保育園に勤務することにしました。その間合唱団にも入っておりましたが13年目声帯ポリープが出来退職。退団もしました。そして障がい児加配や障がい児授業所などに勤務し重度の障がい児さんとのかかわりは難しいこともありましたがとても楽しかったです。その他いろいろありましたが約20年間在阪しました。自分なりに神さまは共にいてくださるという事を信じ祈ることも多くありましたが教会のクリスマス礼拝に出席することはありませんでした。

帰倉して恩師の松隈玲子先生に連絡を取り当時シオン山教会付属愛の園園長土山君子先生とお会いしてシオン山教会の主日礼拝に出席するようになりました。土山家家庭集会にも参加し、それから愛の園保育園に勤務することになり、真のクリスマス礼拝を認識し、キリスト教保育に触れる中、イエス様を信じ故今村幸文牧師よりバプテスマに与かりました。クリスチャンとして保育士として教会付属園であることから教会行事は勿論、教会でのクリスマス礼拝、イヴ礼拝の賛美・奉仕を経験し子どもたちのクリスマス礼拝、ページェントを行うことになります。キリスト教保育に携わる者として研修会や教会学校に率先した参加しました。また当時の職員会議では牧師、松隈玲子先生が

ご出席くださいましたので色々と学びを得ました。特にクリスマスに対して迎えるまでの待ちわびるワクワク感、心のもち方、保育士としてそれを子ども達にどのように理解させ、共有できるのか普通の劇ではない(霊的な)聖書のことばのむずかしさ、役割等のご助言を頂き、本当に感謝でした。その事を思い出し今年もクリスマスを迎えます。5月から主日礼拝で子どもメッセージが取り行われ、共に力あるみ言葉を聞くときに感謝しつつ、教会学校・子どもメッセージ宣教と重なるみ言葉は有難く解りやすく喜びを感じています。共によきクリスマスが迎えられるよう神さまの愛に応えられる備えをして行きたいと思えます。

天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町であなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。

ルカ 2章 1 1 節